



“わたしたちの社協の一押し事業”



「法人後見」事業の立ち上げ

／富津市社会福祉協議会

事業名：法人後見事業（ふつつ後見支援センター）
○具体的な内容・中身 ・制度に即した相談対応や生活支援の実施。
○その事業を始めたきっかけ ・日常生活自立支援事業では対応しきれない利用者が出てきており、法人後見の必要性を感じたこと。
○事業の特長、特に強調したい点 ・一人暮らし高齢者が今後さらに増加することから、法人後見を実施する体制を早急に整備しなければならないと考えている。 ・これをやらなければ社協存続の意味がないと心得て取り組んでいる。 ・市からの補助金増額につながると考えている。 ・任意後見契約についても受任（諾）する。
○事業の財源と事業費の内訳、業務量（事務量、負担感・協力者の人数等） ・現在立ち上げ準備中であり、県社協の2年間の補助を利用（90万円×2年間） ・市にも補助金獲得について働きかけを行っている。
○事業の効果、住民・関係者からの評価 ・「自分が亡くなったあとは社協にお願いしたい」と言ってくれる方も多い。 ・市からの補助金増額につながると考えている。
○今後、同じような活動を始めるに当たってのヒント・アドバイス ・自分が死んだ後も安心できる状況を社協として作り出すことが大事である。
この事業に関する問合せ先：富津市社会福祉協議会（担当：鈴木）電話 0439-87-9611

（平成28年3月30日作成）

これからも
安心して暮らして
いくために

成年後見制度 のしおり

今は元気だが、将来的に
認知症になるなどの不安がある。

最近もの忘れがひどくなってきたので、
財産管理などが不安になった。

認知症で施設に入所した父の財産を
処分して入所の費用にあてたい。

自分たち親がいなくなったあと、
知的障がいのある子どもの将来が心配。

認知症でひとり暮らしの母を
悪質商法などから守りたい。

脳梗塞で倒れた父の代わりに、
経営しているマンションを管理したい。



ふっつ後見支援センター
(富津市社会福祉協議会)